

# 第13回健康投資WG 事務局説明資料③

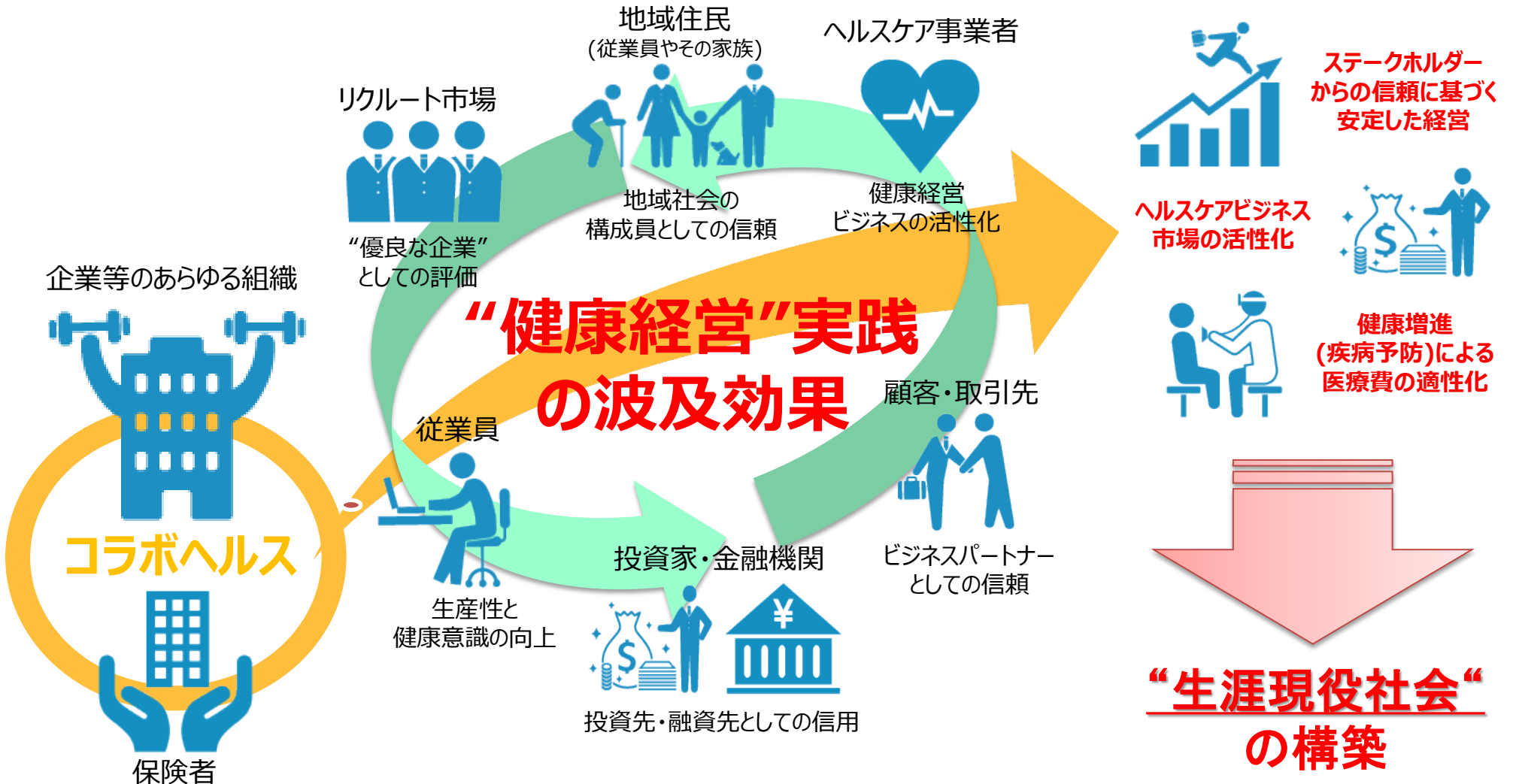
(アクションプラン2017(健康投資WGパート)(案)について)

平成29年3月31日

経済産業省 商務情報政策局

# 「健康投資」を進める意義

- 少子高齢化等により労働力が限られていく中、人財投資は全ての組織にとって持続的成長のカギ。
- 人財投資を通じた従業員の健康増進(健康経営)に取り組む意義を普及させることで、経済の持続的成長と同時に、“生涯現役社会”の構築を目指す。



## 【基本コンセプト】

- 健康経営に取り組む企業等を「見える化」し、企業の経営層の関心を高めることを目的として、一昨年に「健康経営銘柄」、昨年11月には「健康経営優良法人認定制度」を開始。こうした顕彰制度や取組企業の増加、メディアの報道等もあり、**健康経営の認知度は向上している**。一方で、**健康経営度調査の回答率は上場企業でも20%未満に留まり、健康経営に対する中小企業での認知度も低いことから、今後も健康経営の裾野を拡大していくことが課題**。
- 健康投資の裾野拡大に向けて、**取組が遅れている企業・業種への普及促進を進めると同時に、取組企業への各種支援策を整備し、取組企業から取引先への啓蒙や、取組企業の従業員からその家族に取組を広げていくこと等を通じて、中小企業や地域へと横展開していく**。
- 加えて、より質の高い健康経営に取り組む企業がより評価される環境を整備することで**健康経営の質の向上を推進**するとともに、これらの**健康課題・ニーズに応えるヘルスケアサービスの更なる需要の喚起を図っていく**。
- これらの施策を通じ、**健康経営を企業文化として根付かせ、企業による継続的・自主的な健康投資を促進**することで、国民が生涯現役で活躍し続ける「**生涯現役社会**」を構築し、国民一人ひとりが享受できる**ヘルスケア産業の創出・育成を図る**。

- アクションプラン2017（健康投資WGパート）では、主として①**健康経営の裾野の拡大に向けた環境整備**、②**健康経営の質の向上に資する施策の展開**に取り組む。

## 【健康投資WGパートのポイント】

### <ポイント①>

#### **健康経営の裾野の拡大に向けた環境整備**

地域版次世代ヘルスケア産業協議会や健康経営の取組を促進するためのセミナー等を通じ、健康経営に関する顕彰制度や健康経営に取り組む企業等に対するインセンティブ等を紹介することで、**健康経営に取り組みつつある企業等に対するメリットを提示することや、中小企業等に対する健康経営の認知度調査等を継続的に実施すること**で健康経営の裾野の拡大を図っていく。

例えば、自治体による表彰制度や地銀等による低利融資など、健康経営に取り組む企業を優良な投資・取引・就職先として支援する金融機関等の取組を拡大するため、これらの**支援を実施する事業者等に関する情報の一元化**を図る。

## <ポイント②>

### 健康経営の質の向上に資する施策の展開

#### i) 「生涯現役社会」の構築に向けた健康経営の推進

「生涯現役社会」の構築に向け、**健康経営の推進を通じた従業員の健康に対する気づきの機会の提供**や、**生活習慣病等の重症化予防**に着目した受診勧奨・特定保健指導等の徹底に取り組む。

#### ii) 企業等における健康経営の質の向上に資する施策の展開

業種の特徴や社会情勢に留意しつつ、「**健康経営度調査**」の項目や「**健康経営銘柄**」及び「**健康経営優良法人**」の選定・認定項目の新設や見直しを図る。具体的には、働き方改革等の議論を踏まえた評価項目の追加等についての検討を行う。また、特に「健康経営優良法人認定制度」については、**認定法人における健康経営の質の向上を図るため、当該法人の取組内容等に関する情報発信について検討を進める。**

#### iii) 健康投資の活性化に向けたヘルスケアサービスの活用促進

一部の企業等では、より高度な健康経営を促進するため、ヘルスケアサービスを利用する場合も増えつつある。この様な**健康投資が活性化することにより、ヘルスケアサービスの質が向上し、国民一人ひとりが享受できる当該サービスの創出が期待される。**

健康投資の活性化に向け、保険者等とヘルスケアサービスのマッチング等を図る観点から、ビジネスコンテスト等の関連施策により、**新たなヘルスケアサービスを育成しつつ、健康経営に資するヘルスケアサービスについての情報の一元化を図る。**また、**健康経営等に資する効果的な行動変容サービスの開発・普及を図るべく、研究開発事業を通じたエビデンスの構築等を進める。**

# アクションプラン2017（健康投資WG関係）（案）のポイント

- アクションプラン2016を踏まえ、アクションプラン2017（健康投資WG関係）は、生涯現役社会の構築に当たっての4つの課題（①身体の壁、②価値観の壁、③選択肢の壁、④情報の壁）のうち、①身体の壁、②価値観の壁について具体的な取組を進める。

## 【具体的な取組】

### 身体の壁 （健康経営の推進）

環境整備等

#### 【健康経営の裾野の拡大に向けた環境整備】

- 地域版協議会やセミナーを通じた健康経営のメリットの提示、認知度調査の実施、健康経営を支援する事業者の一元化

#### 【健康経営の質の向上に資する施策の展開】

- 健康経営を通じた従業員の健康に対する気づきの機会の提供や、生活習慣病等の重症化予防に着目した取組の徹底
- 「健康経営銘柄」や「健康経営優良法人」の選定・認定項目の見直し、認定法人に関する情報発信のあり方の検討
- 健康経営に資するヘルスケアサービスの情報の一元化、行動変容サービスのための研究開発事業を通じたエビデンスの構築

大企業

#### 【健康経営銘柄の継続的实施と基準等の見直し等】

- 「健康経営度調査」の設問等の改善、選定・認定基準の見直し
- 企業における効果的な情報発信についての検討

#### 【日本健康会議等との連携による裾野の拡大】

- 「500社公表」の取組を通じ基本的取組や情報発信を行う企業を見える化

インフラ

#### 【保険者へのインセンティブの見直し】

- 保険者種別の特性に応じた新たなインセンティブ制度の実施に向けた準備の推進
- 国保の保険者努力支援制度の本格実施に向けた評価指標等の検討

中小企業

#### 【認定制度（中小規模法人部門）の推進】

- 認定制度（中小規模法人部門）の改善
- 保険者や経済団体、自治体等が連携し都道府県単位で協働できる体制の検討や地域版協議会との連携

#### 【制度と連動したインセンティブ措置の拡充】

- 優良事例の横展開やマッチング機会の提供、インセンティブの検討

#### 【健康経営の実践に向けたノウハウの提供】

- 「健康経営アドバイザー」の普及・活用促進と、健康経営の実践に向けたノウハウの提供

サービス事業者の育成

#### 【企業・保険者と民間サービスのマッチング】

- 日本健康会議の優良ヘルスケア事業者100社公表と連携し、企業・保険者と民間サービスのマッチング機会の提供（データヘルス見本市等）を実施

#### 【個人へのインセンティブの整備の促進】

- 健康リスクの度合いに応じた民間保険商品を開発・設計する際の課題や留意点の抽出

#### 【職域における運動習慣の構築】

- 通勤時間等を活用した運動・スポーツ習慣づくりの推進

### 価値観の壁 （健康情報活用による行動変容等）

健康情報

#### 【行動変容効果の実証研究】

- 生活習慣病予防・重症化予防に向けた行動変容を促すための仕組み作りについて、実証事業の成果を踏まえ研究開発事業を推進

#### 【自治体等における予防等サービスの活用環境整備】

- 自治体等が健康予防事業等を行う際の手段として、ヘルスケア分野におけるソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の導入を更に推進